

(2022/6/13版)

# 2022 年定期総会議案書

日 時：2022 年 7 月 2 日（土）

午後 14 時 00 分～午後 14 時 30 分

場 所：WEB 開催

## 定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議 事

第 1 号議案「2021 年度（第 18 期）事業経過報告および会計決算報告」

第 2 号議案「2021 年度（第 18 期）会計監査報告」

第 3 号議案「2022 年度（第 19 期）事業計画案および会計予算案」

議長解任

閉会のことば

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

## 【第1号議案】「2021年度（第18期）事業経過報告および会計決算報告」

### 1. 事業内容

#### 1.1 活動内容

##### ① WG-D（草の根WG）活動の実施

WG活動は、WG-Dの草の根防災活動に集約して毎月一回程度オンライン会議として開催していました。その時々話題や、NPOの活動内容について議論しました。

##### ② 研修会（防災講演会）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今期は防災講演会の開催を中止しました。

##### ③ 出前講習会等

防災講演会と同様の理由で実施を見合わせました。

##### ⑤ ニュースレターの発行

不定期ですが、ニュースレターを発行しました。

##### ⑥ WG-C（地盤防災WG）活動の実施

2021年6月25日に発生した大阪市西成区天下茶屋東2丁目のから石積み擁壁の倒壊と、それに伴う住宅2棟（計4戸）の住宅が崖下に崩落した事故について、マスコミ等に情報提供しました。また、梅雨前線による大雨に伴い、2021年7月3日に発生した静岡県熱海市伊豆山の逢初川で発生した土石流について、マスコミ等への情報提供をするとともに、WG-D内で情報収集及び議論を行いました。

##### ⑦ 災害時連携NPO等ネットワーク行事への参加

京都府の災害時連携NPO等ネットワークシンポジウム「地震学最先端を知る ～地域のそなえ全員集合～」に参加しました。当NPOの概要について説明し、パネルディスカッションに参加しました。

## 2021年度（第18期）NPO法人都市災害に備える技術者の会

会計決算報告書（2021年4月1日～平成2022年3月31日）

特定非営利活動に係る決算報告書

（単位：円）

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収入	会費・入会金収入	240,000	115,000	-125,000	会費23名
	受託業務	0	0	0	
	前年度からの繰越金	2,283,129	2,283,129	0	
	雑収入	0	2	2	利息
	収入合計	2,523,129	2,398,131	-124,998	

	項目	予算	決算	差額	備考
支出	<b>事業費</b>	<b>341,000</b>	<b>31,552</b>	<b>-309,448</b>	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	5,000	0	-5,000	防災講習講師費等
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	5,000	0	-5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	10,000	0	-10,000	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	10,000	0	-10,000	
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	281,000	0	-270,128	研修会等
	会場借用料	80,000	0	-80,000	
	印刷費等	90,000	5,250	-84,750	資料印刷
	講師旅費	100,000	0	-100,000	会員外の講師旅費
	通信費	10,000	5,622	-4,378	会員へのメール便送料
	その他	1,000	0	-1,000	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	10,000	0	-10,000	講師派遣（交通費等は依頼先負担）
	前号の活動にかかる費用	20,000	20,680	680	プロバイダ料金等
	ウェブサイト費用	20,000	20,680	680	
	<b>管理費</b>	<b>103,000</b>	<b>135,824</b>	<b>32,824</b>	
	会議費・旅費交通費・交際費	20,000	0	-20,000	
	租税公課	0	7,840	7,840	開示資料請求用印紙代他
	備品等整備費	25,000	2,816	-22,184	事務用品
	消耗品費	5,000	0	-5,000	
	登記手数料	40,000	49,500	9,500	理事登記費用
	会費	0	10,000	10,000	
	支払い手数料(事務局費)	13,000	65,668	52,668	事務諸費用ZOOMサテライト 梅田前理事の供花代
支出合計	444,000	167,376	-276,624		
(単年度収支)	▲204,000	▲52,374			
当期収支差額（次年度繰越金）	2,079,129	2,230,755	167,376		

## 【第2号議案】「2021年度（第18期）会計監査報告」

### 2021年度（第18期） NPO法人都市災害に備える技術者の会 会計監査報告書

私たち会計監査は、2021年度（第18期）NPO法人都市災害に備える技術者の会  
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計処理  
は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

#### 記

1. 監査実施日時 2022年6月 / 日
2. 監査帳簿類  
活動計算書  
貸借対照表  
仕訳日記帳  
総勘定元帳  
当期の証票（領収証）  
預金通帳

2022年6月 / 日

監事

山口秀次



印

## 【第3号議案】「2022年度（第19期）事業計画案および会計予算案」

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言などにより、予定していた活動が十分にできない事態に直面しました。防災講習会の開催延期、WG例会のオンライン会議への変更等の影響が出ています。防災講演会につきましては、今後の新型コロナウイルスの感染状況の収束を待って再開する予定です。

またWG例会につきましては、概ね毎月1回オンライン会議で開催しています。参加者が増え、毎月開催することにより時宜に即した鮮度の高い議論が可能となったため、今後もオンライン会議を基本として進めます。また、時々は対面例会も開催したいと思います。

### 1.事業計画

#### 特定非営利活動に係る事業

##### [会員向け活動]

##### 1.研修会

新型コロナウイルスの感染状況が収束したら、研修会を再開したいと思います。参加は会員のみならず、技術士会・防災士会・マスコミや一般市民へも呼びかけます。

##### 2.発災後活動の開始

災害が発生した際には、被災地調査を実施したいと思います。技術者の会であることがわかるようにビブスを着用して活動をする予定です。

##### 3.メーリングリスト・ニューズレターの活用

即時性を重視し、WEBとメーリングリストによる情報発信形態を主に用います。ニューズレターは、会員からの投稿を中心に作成し、できるだけ刊行頻度の向上を目指します。

##### 4.ワーキンググループの活動

これまで通り、当NPO活動の中心として行っていきます。新型コロナウイルス感染症が収束するまではオンライン開催とし、その後は対面あるいはハイブリッド方式を検討していきます。

##### 5.活動の電子化

本会の活動は、メール・WEB利用等の活用により電子的に行うようにしていきます。

##### [社会に向けた活動]

##### 1.講師派遣

ご依頼に応じて防災講演等に会員等を派遣します。

##### 2.WEB等での広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメーリングリストで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。

##### 3.マスコミとの連携

関西のマスコミの防災担当者の勉強会である「関西なまずの会」に積極的に参加させていただき、情報発信をより活発化させていきたいと考えています。

##### 4.盛土関連の意見を行政等に発信

盛土関連の技術的な意見を行政等に積極的に発信するとともに、情報公開制度を活用して積極的な情報収集に努めます。

## 2022年度（第19期）NPO法人都市災害に備える技術者の会

会計予算案（2022年4月1日～2023年3月31日）

特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位：円）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収入	会費・入会金収入	115,000	125,000	正会員 25名
	受託業務	0	0	
	前年度からの繰越金	2,230,755	2,230,755	
	雑収入	2	2	利息
	収入合計	2,345,757	2,355,757	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支出	<b>事業費</b>	<b>31,552</b>	<b>136,000</b>	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	0	5,000	
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	0	5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	0	5,000	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	0	5,000	
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	10,872	86,000	研修会等
	会場借用料	0	20,000	
	印刷費等	5,250	30,000	防災講演会がー資料印刷
	講師謝礼旅費	0	30,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	5,622	5,000	会員へのメール便送料
	その他	0	1,000	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	0	10,000	講師派遣に係る費用
	前号の活動にかかる費用	20,680	20,000	
	ウェブサイト費用	20,680	20,000	プロバイダ料金等
	<b>管理費</b>	<b>135,824</b>	<b>115,000</b>	
	会議費・旅費交通費	0	5,000	
	租税公課	7,840	30,000	情報公開資料開示請求用印紙代
	備品等整備費	2,816	25,000	サイボウズ使用料を含む
	消耗品費	0	5,000	
	登記料	49,500	10,000	決算登記費用
	会費	10,000	10,000	地区防災学会
	支払い手数料(事務局費)	65,668	30,000	事務諸費用 ZOOM等
	支出合計	167,376	251,000	
(単年度収支)	▲52,374	▲125,998	単年度収入-支出	
当期収支差額（次年度繰越金）	2,178,381	2,104,757		

事務局	事務所	兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地 (太田ジオリサーチ内) Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123	WEB	<a href="http://www.toshisaigai.net">http://www.toshisaigai.net</a> e-mail:office@toshisaigai.net
	理事	山田 信祐 (理事長) 伊藤 東洋雄 (副理事長) 片瀬 範雄 (副理事長) 太田 英将 (事務局長兼務) 廣野 一道 北 高穂 西濱 靖雄 大野 一成	監事	諸戸 順子 山口 秀次
	顧問	室崎 益輝 先生 河田 恵昭 先生 向井 通彦 先生		

### WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
地震災害の軽減WG (WG-B)	津波・地震災害軽減を 考える	石川浩次	地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。WG-Dと合同で活動を行います。
地盤防災WG (WG-C)	地盤防災を考える	太田英将	住宅地・造成地など防災に関連した地域の地盤防災を考えます。新しい探査法等を試験します。
草の根防災WG (WG-D)	地域活動を考える	山田信祐	幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体(自主防災組織や防災団体など)と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。

定款 (通常総会に関連する部分の抜粋)

(開催)

第24条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

(招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項第2号及び第49条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1)日時及び場所

(2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3)審議事項

(4)議事の経過の概要及び議決の結果

(5)議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印または記名、押印しなければならない。